# 活動レポート　道央技術士委員会

文責：道央技術士委員会　**中河　勇**

## 令和元年度　総会、講演会及び懇親会

### 1. はじめに

5月17日(金)に行われました「第28回道央技術士委員会総会、講演会及び懇親会」について報告します。

開催日：令和元年5月17日(金)

場　所：蓬莱殿(室蘭)

時　間：17：00～20：00

総会は例年、室蘭と苫小牧で交互に開催しており、今年は室蘭での開催となりました。

講演会は、北開工営株式会社門口貴美氏に「モンゴルにおける日本式高専教育の経過と国内外の動き」という演題でご講演いただきました。

### 2. 講演会「モンゴルにおける日本式高専教育の経過と国内外の動き」

ご講演頂いた門口貴美氏は、平成26年にモンゴル高専モデルクラスに短期測量教師として派遣され、現在は北開工営株式会社の技術部サブリーダーとしてご活躍されています。

**門口貴美氏のご講演**

**(1)「モンゴルへの日本式高専教育導入」事業概要**

日本の工業高等専門学校制度は、実践的技術者養成システムとして国際的に高い評価を受けています。2013年10月に立上げられた「モンゴルへの日本式高専教育導入」事業は、モンゴル政府が、この日本の工業高等専門学校制度をモンゴルに導入するための支援を「公益財団法人　笹川平和財団　笹川汎アジア基金」に依頼したのがきっかけでした。同事業によって、モンゴル工業技術大学(IET)に高専モデルクラスが設置され、日本人高専教育専門家による教育が試行的に開始されました。その後、高専教育のためのモンゴル国内法が改正され、2014年9月には本格的に「モンゴル高専」がスタートしました。

**(2)短期派遣時(2014年5月～6月)の授業**

門口氏は、IETに設置された高専モデルクラス1年生の測量学の講義と実習を担当され、講義では測量方法や機器についてのガイダンスと簡易な計測方法、実習では測量機械の操作・使用方法、距離測量、水準測量などを指導されたそうです。その際、モンゴルの教員や学生は、機械はあるが使い方がわからない方がほとんどであったことから、測量の知識を学んだ上で、実際に“測量に触れる”ことを主眼に置いた指導を行ったそうです。

高専ならではの講義と実習を行うことで、より現場に近い動きを学べることから、技術者の卵を育てる第一歩につながると感じさせられました。

**(3)その後の経過と国内外の動き**

事業最終年度(2016年)にモンゴルで「高等教育に関する法律」が制定され、これを受け、高専教育支援事業が2017年～2018年の2年間延長となりました。2018年5月にはタイで日本式「タイ高専コース」が開講し、2019年2月にはモンゴル高専モデルクラス「高専課程」修了式が行われ、5月にタイで日本式高専が開校しました。6月にはモンゴル

高専 1 期生の卒業式が行われる予定とのことです。

また、新たな国内外の動きとして、さくらサイエンスプラン（JST 国立研究開発法人　科学技術振興機構）への参加が活発に行われています。さくらサイエンスプランは、産学官の連携によりアジアなどの若者を日本に招へいし、日本の科学技術を体験してもらう 2014 年にスタートした事業です。2016 年にはモンゴル高専で土木工学を学んでいる学生 9 名と引率教員が来日しています。

## 3. 総会

### （1）議案

①事業計画

事務局より、2019 年度の年間行事予定（見学会及び講演会）の説明と新規会員勧誘のお願いがありました。

② CPD 技術研修会

昨年度は開催できませんでしたが、今年度は CPD 技術研修会を開催予定です。CPD 技術研修会では、発表希望者が日々携わっている業務内容等を発表し、自己研鑽及び会員相互の交流を図ることを目的として実施します。

### （2）北海道本部事務局次長の挨拶

北海道本部事務局次長　長井智典氏より「技術士を巡る最近の動向」として、試験結果、統括本部からの話題及び北海道本部の主な動向についての報告がありました。

**北海道本部事務局次長　長井智典氏のご挨拶**

## 4. 懇親会

懇親会は同会代表　田中雄太氏の乾杯の音頭で開会され、講演会の内容についての話題や近況報告など、技術部門・世代・業種問わず、会場全体で技術情報の交換が活発に行われました。

また、今回新規会員となられた苫小牧高専准教授　渡辺暁央氏、株式会社日本製鋼所　鈴木潤氏、株式会社キメラ　大友浩一氏より行われた近況報告では、各業界の動向や苦労話など様々なお話を、笑いを交え聞かせて頂きました。

最後に、元室蘭工業大学教授　渡部富治氏から、研究分野の「波力エネルギーの実用化」という将来への魅力について熱くお話を聞かせて頂き、併せて、締めのご発声をもって盛会の内に閉会致しました。

**懇親会の様子**

**渡部富治氏のご挨拶**

## 5. おわりに

道央技術士委員会では、今年度 2 回の施設見学会・講演会を予定しており、より技術の研鑽に励むとともに、苫小牧高専をはじめ、地元教育機関とも連携・協働していく事で地域への貢献を図っていきたいと考えます。